「春の記憶」　ノザワ ヒロミチ（高35）

同窓会報

発行年月日
令和７年５月１日発行
発行所
長野県野沢南高同窓会
長野県佐久市原86－1
TEL（0267）63－6646
責任者　長田　芳子
印刷所　㈱佐久印刷所

今年の抱負

同窓会長
長田　芳子
（高29）

今年もまた、会報をお届けする季節になりました。編集に携わって下さいました役員、原稿をお寄せ下さった会員、関係の皆様に深く感謝申し上げます。

令和６年度も各支部総会、集いを様々な趣向を凝らして準備、開催して頂き、支部活性化に多大なご協力、ご尽力を賜りました。参加する度に野沢南同窓生の底力を改めて感じる一年となりました。「組織は人なり。教育もまた人なり」と様々なマネジメント研修で聴く事ですが、現実社会では生成ＡＩの登場により人の存在が軽んじられている様な風潮に違和感を持ちます。それ故、人が重要、人が資源であると同窓会の活動を通して強く感じております。私自身も他者との関わり、集団や社会との関わり、自然や芸術など崇高なものとの関わりを持ちながら、力をつけていかなければと自戒の念を込めて多角的なかつ多面的な思考を持ちながら、これからも取り組んでいかなければと考えております。今年度は男女共学50年目を迎える節目の年になりました。是非男子同窓生の更なるお力添えを頂き、多くの皆様のお声をお聞きしたいと存じますので、総会、支部の活動など積極的にご参加頂ければ幸いです。重ねてよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

校長
中村　信秋

同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対しまして、物心両面にわたり心温まる御支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校は今年で全日制114年目・定時制74年目を迎えます。伝統ある本校の将来については、現在、令和11年度から始まる佐久新校への再編統合に向けて協議が進められております。昨年度は、懸案であった校地拡幅について大きな前進が見られ、新校で学ぶ生徒たちの安全性や利便性の大幅な向上が期待できるようになりました。これらの成果の裏には、本校同窓会に関わる方々の粘り強い働きかけがあったことを忘れてはならないと思います。新校については、校地拡幅に伴う施設整備計画の見直しや、校名の選定等、まだまだ決めていかなければならないことが山積みとなっています。とかく新校舎や新しい校名など「外形」に目が向きがちですが、それ以上に重要なことが、新校でどのような学びができるか、つまり「教育のビジョンとカリキュラム」なのだと思います。それについては、『文系理系にとらわれず探究を核として、大学・研究機関・企業・自治体等と協働しながらダイナミックな学びをめざしていく』という指針が示されています。再編統合前の野沢南高校の学びも、新校のビジョンを意識したものにすべく、今年度入学生から、探究を中心とした進学型コース制を導入いたしました。コースに分かれるのは来年度からですが、高等教育機関や地元企業などと連携しながら、より地域に開かれた教育課程を編成する予定です。

最後に、同窓生の皆様の益々の御活躍と御健勝を祈念申し上げるとともに、本年度も、母校の教育活動に一層の御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

着任のご挨拶

全日制教頭　篠原　豪

４月より全日制教頭として赴任いたしました。平成23年度から令和元年度までの９年間、教諭として勤務させていただいたこの思い出深い野沢南高等学校に、再び勤務できることを大変嬉しく思います。振り返れば、ちょうどコロナ禍の始まりの年にあった転任時には、お世話になった同窓会の皆様へのご挨拶もままならず心残りもありました。この度は、教頭として野沢南高等学校の教育活動にもう一度、精一杯取り組んで参る所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。ただ、教頭としては不慣れでもありますので、至らぬところも多々あるかと思います。皆様にはどうぞ、ご指導、ご鞭撻の程お願いいたします。

着任のご挨拶

定時制教頭　篠原　俊介

今年度４月より、定時制教頭として着任いたしました篠原俊介と申します。私自身、佐久の出身で、非常に身近な存在であった野沢南高校で勤務させていただくことになり、これからの生活に、大きな期待を抱いているところです。定時制の生徒たちが、主体的で充実した高校生活を送れるよう、微力ではありますが、全身全霊で取り組みたいと思います。

最後に、同窓会の皆様には。今後様々な面でご協力いただき、お世話になると思います。今後とも野沢南高校へのご支援をよろしくお願いいたします。

総会報告

○日時：令和６年６月８日(土)
13時30分～18時
○場所：佐久一萬里温泉ホテル

長田芳子同窓会長より会長就任初年度一年間の活動報告がされた。直近の課題である佐久新校創設について推進協議会で議論しており、様々な要望をしていることや県教委の担当者が変更となり潮目が変わりつつある状況が話された。中村信秋学校長より、新型コロナ感染症がひと段落となり様々な活動が行えるようになったこと、４月に176名の新入生を迎え生徒がのびのびと学校生活を送り活躍している様子が紹介された。ご来賓の佐々木勝佐久穂町長より全日制男子１期生であること、旧八千穂村の出身で地元の地域や学校の合併に携わり母校が閉校となることは残念であるものの、新校の未来へ大きな希望を持っていることが語られた。

田中浩江理事、神部かほる理事の議長の下全ての協議事項が承認された。

公演では、ソプラノ歌手であり高27回卒業生の小林玲子先生とピアノ伴奏の原いづみ先生による「平和への祈り～ソプラノの響き」をテーマに演奏いただいた。小林先生はイタリアで、専門性を磨き多彩なご活躍をされている。ソプラノの圧倒的な存在感と歌唱力とともに、心地好いピアノ伴奏に魅了された。生徒発表では、吹奏楽部による演奏が披露され、活動の成果とともに元気いっぱいの音色に包まれた。また、会場内には美術部・漫画研究部・書道部の作品が展示され、若さ溢れるエネルギーと華やかな彩りを添えていただいた。

懇親会では、和やかに会員相互の親睦の時間が設けられた。

（村松さつき）

吹奏楽部の演奏

令和６年度 長野県野沢南高等学校 同窓会決算書（見込）

令和７年３月31日現在

１．総括

収入決算額	4,559,159円
支出決算額	4,252,048円
差引残額	307,111円（残額は次年度へ繰越します）

２．収入　（単位：円）

項目	6年度決算見込額	備考
入会金	1,958,001	全日制１年 @12,000×163人 定時制１年 @3,000×13人他
会費	33,000	定時制２年 @3,000×11人
特別会費	38,500	定時制３年 @3,000×5人 ４年 @3,000×8人
繰入金	1,646,000	同窓会協力金より
雑収入	4,995	利息他
繰越金	878,663	令和５年度より
合計	4,559,159	

３．支出

	項目	6年度決算見込額	備考
会議費	総会費	154,492	総会諸費用
	役員会費	78,604	役員会費用
	計	233,096	
事務費	交際費	210,000	鈴蘭祭祝儀・支部総会祝儀 転退職者御餞別
	事務費	215,136	事務用品・写真代・消耗品
	通信費	71,248	郵送料・電話料
	旅費	284,030	理事・支部長会交通費
	報酬費	393,652	役員・事務職員報酬
	管理経費	10,933	同窓会室使用料・光熱費
	計	1,184,999	
事業費	会報費	2,377,436	会報発行諸費用
	記念品費	87,412	卒業証書ホルダー
	文化的事業費	34,325	地域探訪
	計	2,499,173	
補助費	生徒クラブ活動費	40,000	クラブ補助
	整備充実費	36,780	校舎・設備整備
	定時制振興会補助	42,000	定時制振興会補助
	発展させる会補助	70,000	発展させる会補助
	鈴蘭アカデミー補助	50,000	鈴蘭アカデミー
	生徒会補助	0	
	計	238,780	
積立金	特別会計積立金	0	
	定時制振興費積立金	30,000	定時制（北信越大会用）
	計	30,000	
予備費		66,000	旧校舎碑修繕
合計		4,252,048	

臼田地区のつどい

10月26日(土)草屋敷にて

川村　ひとみ（高22）

コロナ禍により開催できなかった「臼田地区のつどい」ですが、４年ぶりに開催することができました。

10月26日、小金沢事務局長にお茶室「草屋敷」をお借りし、先ずはご到着された皆様に、秋の気配が感じられる和菓子とお抹茶を召し上がっていただきました。

その後、井出副会長の長年勤務された貴重な体験談「空港物語」と長田会長の「佐久新校の進捗状況について」のお話を拝聴致しました。

最後に懇親会を兼ね、薄茶のお点前と、全員が茶筅を振りお茶を点てるという体験を致しました。同窓生という繋がりの中、大変和やかで有意義な楽しい一日を過ごすことができました。

前回の開催から４年が経ってしまい何かと経過が解らない中、手探りで何回かの会合を経ることにより、役員の皆様との絆も深まりました。

今回は参加人数に制限がありましたが、次回は皆様にお知らせし、大勢ご参加いただけることを期待しております。

お点前体験

リサイタル後のトークショー

令和７年度 支部総会のお知らせ

○関西支部　5月17日(土)
○野沢地区　9月～10月
○中込支部坐禅会　10月　種月院
○東京支部　10月15日(水)
○岩村田地区　10月26日(日)
○臼田地区　11月頃

※他地区は現在未定です。

佐久新校(仮称) 6年度の進捗状況

令和6年度の佐久新校に関わる活動についてご報告致します。

令和5年6月に発足した「佐久新校創設推進協議会」により会報72号でご報告した**重要3項目**の実現に向け進めてまいりました。

一、「**校地を拡幅する**」につきましては、令和6年度に入り拡幅の方向で考えているといった県教育委員会からのお話が出始め、10月16日の第22回懇話会（県教委主催）において現在の野沢北高校の西側に校地を拡幅する計画が表明されました。校地拡幅の実現には協議会をはじめ多くの皆様にご尽力を賜りましたこと、この場をお借りし感謝をお伝えし、御礼申し上げます。

二、「**通学の利便性、安全性を確保すること**」につきましては歩車分離が安全性を高めると主張してまいりました。自動車と徒歩・自転車の導線を分けることが重要です。この度、拡幅が決定した事に伴い、探究を核とした大学・企業との連携、交流など新しい学びにふさわしい広い駐車場や大型バスが旋回できるロータリーなどが必要になることが予想されます。又、生徒達にはゆとりのある学習環境の中で伸び伸びと高校生活を送って欲しいと考えております。

三、「**校舎の全面改築**」につきましては、第19回懇話会において校舎配置計画の概要が示されていますが、校地拡幅に伴い新たに最適な校舎配置を求めています。特別教室棟、音楽室棟、大体育館については既存棟を活用する方向は変わらず、機能性、快適性を満たす改修を要望していきます。

以上、重要3項目についての進捗状況です。

更に施設整備計画に向け、2月に両校教職員ヒアリング、3月には両校生徒によるワークショップ（第2回）が開催され、より具体的な議論が深まり、より良い学びの環境が整えられていきます。

今後は、学習活動の具体的な研究・検討、新校の校名、校歌等、新校生徒募集まで残り4年となりました。これからの数年野沢南高校同窓会についても、どの様にするべきか考えなければなりません。忌憚のないご意見を頂けると幸いです。

計画案の説明

両校生徒によるワークショップ

令和6年度

高等学校を発展させる会

～学びのプロジェクト講演会～

○理事会・総会(研修会) 630名出席

日時　10月17日(水)
　　13時30分～16時30分

会場　野沢南高等学校

(1)理事会　13時30分～14時

(2)総会(研修会)
　　14時30分～16時30分

今年度の総会は、ここ数年来の懇話会形式の開催ではなく、学校側の強い要望により、全校生徒・教職員が一堂に会し、高校中退後、脳の不思議さに誘引され、カリフォルニア大学神経科学学部を飛び級で卒業した経歴を持つ、応用神経科学者青砥瑞人氏を講師に迎え、学びのプロジェクト講演会を開催した。

心理学を教育学に繋ぎ合わせ、人の理解を深め垣根を超えた人の成長のヒントとして『自分の考え方を変える・意識を変える』10項目『①失敗に捕らわれず成長と可能性に全集中②自分の成長を後押しするストレスは歓迎③後押ししてくれたストレスに感謝④出来なかった、出来るようになった、を同時に思い出し連結化⑤行動するから何かに出会う⑥先ず行動・体験し感じる⑦新体験＋探索でよく遊ぶ⑧「塵も積もれば山となる」を大切に⑨ささやかなものに興奮・好奇心・ときめく心⑩根拠なしの自信の火を絶やさない』を主軸に自分自身の体験や文献を織り交ぜながら素足で生徒の近くで語り掛ける講演が行われた。講演後の質疑応答では、生徒・来賓・先生・同窓会から積極的に質問が出された。

最後に長田会長より「この講演が、今の自分、これからの自分の変化のきっかけになれば」と期待を込めた。

講演についての生徒アンケートでは「ストレスに対してネガティブな印象からポジティブな印象に変化した」「ストレスの回避方法を見つけた」等、好感の高い回答が多く寄せられた。

今回の理事会において名称変更の規約改正が承認された。本会は、平成17年に県教委による、突然の多部制・単位制高校への転換案をきっかけに、白紙撤回を求める活動のために『野沢南高等学校を守り発展する会』として設立された。白紙撤回後、『野沢南高等学校を発展させる会』と改称、今回は、今後の新校創設に伴い野沢南高等学校に留まらず幅広く考え、行動して行くことが必要なことから『高等学校を発展させる会』へ改称された。

講師 青砥瑞人氏

令和６年度 同窓会主な活動

4月20日(土)（同窓会館）
○理事・支部長合同会議①（49名）
(1)事業計画・予算案・総会について
(2)新校について
(3)グループ討議

5月1日(水)
○第72号同窓会会報発行

5月25日(土)（神仙閣大阪店）
○関西支部総会（20名）
（岳南会・関西鈴蘭会共催）

5月31日(金)（香青軒）
○上田支部総会（９名）

6月8日(土)（佐久一萬里ホテル）
○同窓会総会（112名）
(1)総会行事
(2)公演（研修①）
小林玲子氏（高27）による
ソプラノリサイタル
「平和への祈り
～ソプラノの響き」
ソプラノ　小林玲子氏
ピアノ　原いづみ氏
(3)生徒発表
・吹奏楽部演奏
・美術部作品（約20点）
・書道部のパフォーマンス作品
(4)懇親会（55名）

6月29日～30日（野沢南高校）
○第75回鈴蘭祭
夢幻～絶え間なき輝きを～
・「同窓会コーナー」への出品（27名　52点）

鈴蘭祭
「同窓会コーナー」

地域探訪「天狗の茶屋」にて

7月22日(月)（同窓会館）
○発展させる会常任理事会①
(1)役員について
(2)規約改正について
(3)会務報告

8月3日(土)（同窓会館）
○理事支部長会議②（42名）
・講演「御影用水をめぐる」（研修②）
講師　木曽茂氏
御影用水・陣屋応援隊事務局
(1)秋の研修について
(2)発展させる会について
(3)地域別グループ討議

9月14日(土)（佐久市生涯学習センター）
○野沢地区のつどい（34名）
・野沢小学校合唱部の合唱鑑賞と歌
・同窓会長講話

野沢地区のつどい

臼田地区のつどい
講師 井出恵理子氏

10月9日(水)（木曽路「上落合店」）
○東京支部の総会（18名）

10月10日(木)（種月院）
○中込支部座禅会（８名）

10月17日(木)（野沢南高校）
○「発展させる会」理事会（26名）
・会務報告
○「発展させる会」総会（630人）
・学びのプロジェクト講演会（研修③）
講師　青砥瑞人氏（応用神経科学者）

10月19日(土)（内山集会所）
○内山支部総会（４人）

10月23日(水)
○第10回地域探訪（研修④）（38名）
水が織りなすストーリー
御影用水・真楽寺を巡る

10月26日(土)（草屋敷）
○臼田地区のつどい（16名）
・講話「空港物語」（井出副会長）
・講話「佐久新校の進捗状況について」（長田会長）
・体験！自分でお茶を点ててみよう（小金沢事務局長）

11月10日(日)（佐久東会館）
○第９回岩村田地区のつどい（38名）
・健康アドバイス「眼の健康」
講師　荻原幸恵氏（高43）
・講演「悔いのない自分の生き方」
講師　菊池初恵氏（高32）

講師
荻原幸恵氏

←講師
菊池初恵氏

1月27日(月)（同窓会館）
○発展させる会常任理事会②
(1)令和６年度反省
(2)令和７年度活動計画
(3)新校について

↑御影用水「温水路」

2月1日(土)（野沢南高校）
○「ようこそ先輩」
・講師16名

2月17日(月)（佐久市生涯学習センター）
○第３回理事会
(1)令和６年度活動報告・令和７年度事業計画　並びに会計
(2)同窓会報73号の発行予定について
(3)令和７年度総会について
(4)令和７年度研修について
(5)「発展させる会」について
(6)令和７年度役員について

←御影用水「五社宮」

第10回 地域探訪
水が織りなすストーリー 御影用水・真楽寺を巡る

市川　洋子（高23）

今回の地域探訪は、先ず大型バスで小諸市御影地区にある御影用水資料館へ向かいました。

御影用水は、江戸時代の初めに小諸藩の武士が、軽井沢の千ヶ滝と白糸の滝の２か所の水源から取水して、４年の歳月をかけ多くの困難を乗り越え、完成させたものだそうです。

資料館でお話をお聞きしてから、館長さんも同行していただき、軽井沢から御代田間の施設や、ゆかりのある神社などを見学しながらバスで移動しました。この用水の完成により、広大な農地が拓かれ、荒廃地が優良農地となり、御影新田と呼ばれるようになったという、歴史深い灌漑施設です。

そして現在も多くのみなさんによる保守作業や、改修工事を繰り返して、用水が維持され、周辺の景観にも馴染んで地域の貴重な財産となっています。

今回の地域探訪で、お話を聞いたり、現地を訪ねてみて初めて知ることばかりでした。

午後は、龍神まつりで有名な真楽寺を訪ねました。住職の法話をお聞きし、歴史ある建物を拝見したり、境内を散策して、思い出に残る秋の一日となりました。

おたより

同窓会と私

友野　法子（高17）

終戦の翌年に生まれた私達は、小5～中1学年に昭和の合併にあい、景気は右肩上がりの状態が続く世の中でした。私は18才で上京し、20才で「買う気でつくれ明治」に入社し、仕事も、職場も、職場茶道も、その他諸々の趣味も全て続けながら、「アッ」と言う間に40年が過ぎ定年退職を迎えました。

在職中から係わっていた「長野県高等学校同窓会東京連合会」の平成26年新年会での事でした。出身高校名と姓名が書かれた名札を胸に円卓で隣り合った方と話し始めて、出身中学も同じで、1学年上の方と判った時、名は同じでも姓が異なるので、当時14才の私が憧れていた方かと、慎重に友人の名前を言うと相手の方も皆知っていて合致しました。そんな時、突然「中学校の向かいに養護の友野先生がいましたよね!!」と、私は驚いて、「その娘の法子です」と、「エッ!!あの活発だった法ちゃん!?」と、相手の方にとっても、目の前の67才、白髪、太った着物姿のお婆さんと14才の少女の記憶は重ならなかったようです。

最後に、母校の同窓会、東京支部の皆さまに、感謝とお礼を申し上げます。

東京支部総会「木曽路」にて

50年目の再会

上田　敏子（高27）

ことの始まりは令和6年度の同窓会報が届いた時でした。

会報の総会の2部の公演に「平和への祈り～ソプラノの響き。小林玲子氏」とあるのが目に止まりました。

私は滋賀県大津市に住んでおり総会に出席したことはありませんでした。でも同じクラスだった彼女が東京まで声楽のレッスンに頑張って通っていた姿を思い出しました。ソプラノ歌手として夢を実現し、現役で活動されていることを嬉しく思いました。「卒業して50年、元気に動ける今、会いに行かなくては次の機会はないかもしれない」という思いに動かされ地元の友達を誘い出席しました。

小林玲子氏リサイタル

公演で彼女の歌声を聴きながら色々な想いが浮かんできました。

私は大津市の民生委員を拝命し14年になります。現在地区の会長として、忙しい日々を送っております。総会に出席し、皆に再会できたことに喜ぶとともに、それぞれの道をしっかり歩んでいることを知り、元気をもらいました。

今回「玲子ちゃん」に会う機会を作ってくださった、同窓会役員の皆様には、大いに感謝しております。

32年の時を経て

諸山　貴之（高45）

今年50歳を迎え、気がつけば高校を卒業してから実に32年もの月日が流れていました。改めて時の過ぎる速さに驚愕します。友人達との笑い声や、部活動に励んだ日々が今でも昨日の事のように思い出されます。

私は家業を継いで地元で商売をしているので、幸いにも高校時代の友人と会う機会に恵まれています。見た目こそ年相応に変化していますが、話す内容といえば学生時代と変わらず、たわいもない事ばかりです。だからこそ良いのだろうと思います。学生時代の友人というのは、幾つになっても「時を戻してくれる」変え難い存在だと感じます。

50にもなると責任ある立場にある友人達も多く、苦労の絶えない日々を送っている事と思います。また約30年の間には、みんな様々な挫折や成功を経験してきた事でしょう。

今はまだ、みんな現役で活躍中と思います。もう少し時が経った頃に、懐かしい思い出話と共に、みんなの人生の経験談なども語らう時が来るのが今後楽しみです。その為にも自分自身、更に人生の経験値を高めたいものです。

みなみからでた

油井　祥子（高62）

「みなみからでた」という作品展を毎年開催している。野沢南高校美術部と野沢北高校美術班との合同展「みなみからきた」を、私が高校1年だった当時の美術の先生たちが企画し、年々参加校を増やしながら10年以上開催していた。「みなみからきた」で初めてギャラリーという施設で展示をし、親戚や先生たち以外の知らない人たちが自分の作品を見てくれる経験が刺激となり、美大を志すきっかけにもなった。そんな「みなみからきた」を経験した野沢南の卒業生で、今も作家活動をしている者を中心に集めて開催したのが「みなみからでた」という展覧会だ。「みなみからでた」も来年度で10年目となり、参加者の幅も広がっている。10年目だからといって特に何かをするわけじゃなく、ただまたみんなで作品を持ち寄り、展示し、多くの人に見てもらう展覧会になるだろう。そんな展覧会が小さな同窓会のようで、毎年の楽しみになっている。出展している私たちだけでなく、見に来てくださるみなさんも、「みなみからでた」が同窓の友人との交流のきっかけになっていることを願う。

油彩画「秋に光る地で」

あっという間

青木　健（高63）

学生時代、よく担任の先生に「時間が過ぎるのはあっという間だ、無駄にするな」と言われていました。

一年程前に「ようこそ先輩」という場でお話する機会をいただきました。自分の学生時代から今までをお話する内容でした。

資料を作り、時間内で終わるように練習もして本番を迎えました。とても緊張していましたが、始まってしまえば「あっという間」だと自分に言い聞かせ教室に入りました。眠くならないよう、随所に自分なりの爆笑ポイントを散りばめて話をしました。爆笑ポイントでは波ひとつ立たない静かな時間が永くながく続きました。楽しい授業をしてくれていた先生方の凄さを痛感しました。この「ようこそ先輩」の恐ろしいところは、2つのグループに同じ話をしなければいけないということです。考えてみてください。数分前にすべった話をもう一度しに行く恐怖を。「時間はとてもゆっくり過ぎることもある」ということを勉強させてもらいました。そんなふざけた発表を退席することなく最後まで真剣に聞いてくれた後輩達には感謝しかありません。

これからも「あっという間」の時間の中で様々な方と接し、色々な経験をしていきたいと思います。

令和6年度

学校だより

備えあれば患いなし

全日制教頭　橋爪　俊彦

昨年の1月1日16時10分、私は氏神を祀る社殿の前にいました。スマホの緊急地震速報に続き、目の前にある社殿がユラユラ揺れ始めたときは、おなかの底から恐怖を感じたのを覚えています。そして、9月には奥能登を豪雨が襲い、能登半島は地震と豪雨の二重被害を受けることになりました。

佐久市の防災マップを見ると、野沢地区は洪水や土砂、噴火の災害からは比較的安全な地域です。また、佐久地区は南海トラフ地震のハザードマップからも外れており、野沢南高校は比較的自然災害の影響を受けにくい立地だということが分かります。

とはいえ、災害がいつ起きても不思議ではない日本に住んでいる限り、私たちは自然災害に対する準備を怠るわけにはいきません。野沢南高校は佐久市の避難所に指定されています。また、本年度より生徒全員が学校に取り残されても大丈夫なように、一日分の食料の備蓄も始めました。夏の冷房、冬の暖房など、実際に避難所として機能させるには、まだまだ課題が山積していますが、準備は万全にしていこうと考えています。

一年を振り返って～定時制より～

定時制教頭　清水　徹

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。

また日頃より本校定時制の教育活動に際しまして心温まるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年4月に本校にお世話になり、早くも一年が過ぎてしまいました。赴任当初は本当にわからない事ばかりで毎日バタバタしていただけでした。仕事にも慣れ、少しずつ余裕が出来てくると定時制の先生方や生徒の事が色々と見えてくるようになりました。

様々な事情や思いを抱え、毎日登校してくる生徒を玄関で迎えます。持っている授業が少ないのでここでしか会話をしない生徒もいます。一年経ってだいぶ気軽に声をかけられるようになりました。

定時制には生活体験発表大会という独自の行事やクラスマッチなどもあります。おそらく生徒たちはそういった行事はあまり得意ではないと思います。ですがそういった行事に頑張って取り組む生徒、そしてそう仕向ける先生方の努力に頭が下がります。私自身が本当に多くの事を学ばせていただいた一年だと感じています。

令和6年度卒業生の進路状況

進路指導係　林　直孝

近年、大学入試制度が大きく変化しており、野沢南高等学校においてもその影響が見られます。特に、年内入試の定員増加と、総合型選抜への力を入れる大学が増加していることが、本校の進路状況に大きな変化をもたらしています。

昨年に引き続き、年内入試を利用する生徒が増加傾向にあります。これは、早期に合格を確定させたいという生徒や保護者のニーズの高まりを反映していると考えられます。また、総合型選抜においては、志願者数が飛躍的に増加しました。これは、生徒たちが、学力だけでなく、自身の経験や個性、将来の目標などをアピールできる総合型選抜に大きな関心を寄せていることを示しています。本校の生徒は多様な進路希望を持っており今後もそれに対応していきたいと思います。

主な合格先

【大学】〔国公〕公立諏訪東京理科大学3・長野大学2・都留文科大学1〔私立〕亜細亜大学1・関東学院大学2・金沢工業大学4・群馬パース大学2・群馬医療福祉大学2・高崎健康福祉大学3・国際医療福祉大学1・国際武道大学1・国士舘大学1・佐久大学7・山梨学院大学2・駿河台大学3・松本看護大学2・松本大学4・清泉女学院大学3・聖徳大学1・専修大学1・大妻女子大学1・大東文化大学5・拓殖大学1・長野保健医療大学2・東海大学1・東京家政大学2・東京電機大学1・日本体育大学2・日本大学1・明治学院大学1・他

【短大】〔私立〕松本大学松商短期大学部2・上田短期大学（上田女子短期大学）6・他

【専門学校】〔公立〕長野県福祉大学校1・長野県工科短期大学校1〔私立〕佐久病院看護専門学校4・松本歯科大衛生学院2・他

【就職】長野県警察4・佐久広域消防1・南相木役場1・シチズン時計マニュファクチャリング㈱1・樫山工業㈱1・千曲通信工業㈱1・日本郵便 信越支社1・他

クラブ活動の記録

〈全日制・運動部〉

全国高等学校総合体育大会出場

○陸上部（男子４００ｍ）

北信越高等学校総合体育大会出場

○陸上部（男子４００ｍ２位）

○女子ソフトテニス部（団体）

長野県高等学校総合体育大会

県大会出場

○陸上部（男子２００ｍ２位、男子４００ｍ１位、女子砲丸投７位）○男子バスケットボール部　○女子バスケットボール部　○新体操部　○女子ソフトボール部（ベスト８）○男子ハンドボール部（ベスト８）○女子ハンドボール部（合同チーム　ベスト８）○女子バドミントン部（団体）○男子剣道部（団体）○女子剣道部（団体）○男子ソフトテニス部（団体）○女子ソフトテニス部（団体３位）○男子卓球部（団体・ダブルス・シングル）○女子卓球部（シングル）○男子サッカー部

北信越高等学校新人大会出場

○陸上部（女子砲丸投）

○卓球部（女子シングル）

長野県高等学校新人体育県大会出場

○男子バスケットボール部

○女子バスケットボール部

○陸上部（男子円盤投げ７位、８００ｍ、１５００ｍ、５０００ｍ、やり投げ、女子砲丸投３位、やり投５位、４００ｍＨ７位、走幅跳、円盤投）○男子ハンドボール部　○女子ハンドボール部　○卓球部（女子シングル）

〈全日制・文化部出場、出展〉

○美術部　長野県高等学校美術展　○吹奏楽部　長野県高等学校吹奏楽コンクールＢ編成（銀賞）中部日本重奏コンテスト　長野県大会　○書道部　長野県高等学校書道展　○合唱部　長野県高等学校合唱サマーフェスティバル（優秀賞）

〈定時制〉

長野県定時制通信制体育大会

東信大会出場

○バドミントン部

愛彩

全日制生徒会長　土屋　夢萌（３年）

私は、全校生徒の意見や思いを大切にし、それを生かすことで生徒が興味を持ち、生徒会活動に参加してもらえる生徒会を目指しています。そして全校の皆さんの三年間という限りある高校生活をより充実させることができるように活動していきたいと考えています。新生徒会のスローガンは「愛彩（いろどり）」です。このスローガンには個性を生かし、明るく愛のこもった生徒会を目指し、行事などの生徒会活動を通じて皆さんの学校生活に彩りを加え、皆さんと一生の思い出に残る経験をしたいという願いが込められています。

２０２５年度の生徒会は、生徒一人ひとりが意見を出し、話し合える場を設け、学校全体で共有する機会を作りたいと考えています。そして出てきた意見を生徒会活動に反映できるように日々努力していきます。

生徒会長として、まだまだ足りないところや未熟な部分が多いと思いますが、一年間責任を持って全力で頑張ります。一年間よろしくお願いします。

団結

定時制生徒会長　細田　歩希（４年）

初めての生徒会長、不安の中に楽しみや期待を抱きながら、日々を過ごしています。

定時制の中での大イベント、文化祭や春季・秋季クラスマッチの計画と実行を行うという責任感を、去年より身に染みて感じています。昔、私は何かに挑戦をする、何かをやってみるということが嫌でした。しかし、この定時制での学校生活や生徒会の仕事に取り組むようになってからは、何かに挑戦をした方が得をすることが多いということを実感することができました。

令和７年度定時制生徒会活動スローガンは「団結」です。今では私たちを引っ張ってくれた先輩はいません。ですが、隣には一緒に活動を行ってくれる仲間がいます。今度は私が先輩方のような背中で、引っ張っていく立場です。

今年度は生徒会役員だけでなく、定時制全校の生徒、先生方と一緒に団結をしながら、一年間の任務を果たしていきますので、よろしくお願い致します。

夢幻～絶え間ない輝きを～

（令和６年度）鈴蘭祭実行委員長　山浦　叶愛

第75回鈴蘭祭のテーマは「夢幻（ゆめまぼろし・むげん）～絶え間ない輝きを～」でした。このテーマにした理由は「大人になった時に『夢のような瞬間だった』と思える文化祭にしたい」また「一人ひとりの個性を尊重し、個性が絶え間なく輝き続ける文化祭にしたい」という思いからでした。

生徒会スローガンの「ともに」と関連付け、全校製作はもちろん、昨年度までは実行委員のみでやっていたステージバック製作も、今年度は全校生徒で行いました。生徒全員が参加することで、一人ひとりの個性が輝く作品ができました。

今年度は、コロナ禍後、初めて制限なく実施できた文化祭でした。コロナ禍で思うように学生生活の活動ができなかった世代が、それぞれの活動を多くの方に見ていただくことができ、来場者の方も含め「夢のような文化祭だなあ」と思える文化祭になりました。

最後に鈴蘭祭に関わってくださったみなさん、ありがとうございました。

鈴蘭祭

修学旅行で感じた平和の責任

３年４組　塩川　那美

私達は１月21日から24日までの四日間、沖縄へ修学旅行に行ってきました。

私が修学旅行を通して得た学びは「平和」の価値とその重みです。一日目、平和祈念公園とひめゆり平和祈念資料館を訪れました。そこで戦争の悲惨さや命の重さ、そして平和への感謝を改めて強く感じることができました。沖縄戦では「ひめゆり学徒隊」という10代の少女たちが医療支援に行かされ、逃げ場のない地下壕で命を落としています。私達と同じ10代の少女たちが過酷な環境の中で苦しんでいたという事実を知り、戦争による悲しい現実と、平和の責任を感じました。また、二日目には民泊をし、沖縄の伝統文化や郷土料理に触れ、貴重な体験をさせてもらえました。普段中々見られない透き通った海や、綺麗な沈む夕日を見れて嬉しかったです。

今、友達や家族と笑って過ごせている平和な時代に感謝しなければいけないことを実感することができた、人生最高の修学旅行、とても楽しかったです。

ひめゆりの塔

ようこそ先輩

― キャリア教育 ―
第20回「ようこそ先輩」講師

No	氏名	分野	卒回
1	浅野　梨沙	看護師	高72
2	井出　京華	保育士	高72
3	井出恵理子	航空会社	高29
4	臼田　早佑	調理師	高74
5	内田　夏希	看護師	高73
6	木内　康裕	消防士	高58
7	小林　睦	大学教員	高36
8	小松　幸恵	福祉施設経営	高33
9	志富　真歩	リハビリテーション科	高73
10	篠原　崇	会社員（水力）	高50
11	高橋　宅美	ＪＲ東日本	高61
12	内藤亜弥乃	美容	高45
13	堀籠　茂文	建設経営	高33
14	森角　祥汰	教諭	高72
15	柳沢　勝美	県教育委員会	高43
16	柳澤　洋介	一級建築士	高50

令和７年度役員

役職	氏名
名誉会長	中島　瑞枝
顧問	佐藤　三恵
	岡本とも子
	箕輪なつ江
	鷹野　時子
会長	長田　芳子
副会長	春原　晃夫
	秋山加奈枝
	高畑　昭子
	花井千恵美
	井出恵理子
	神津　克彦
	村松さつき
事務局長	高橋　順子
監事	依田　茂子
	柳沢　初夫
理事	角田　富重

役職	氏名
理事	川村ひとみ
	篠原とよ子
	油井　宏子
	小林　一代
	岩本　智子
	三石　淑子
	神部かほる
	須田　幸枝
	飯浜　弘江
	高見沢孝一
	高見澤正洋
	山口　始
	宮沢　秋三
	田中　浩江
	木内　良居
	日下部俊介
	須田　泰仁

理事	支部長
森泉きよ江	
田宮　貴子	
土屋　喜雄	
諸山　貴之	
川上	鷹野　健一
南牧	黒岩　清子
小海	北原富美子
北牧	関　　和美
北相木	嘉瀬　貴江
南相木	中島　芳美
八千穂	井出とし子
栄	山浦　知子
海瀬	篠原　由美
大日向	山口　始
臼田	相馬　里佳
切原	油井ひろみ

支部	支部長
青沼	日向　美江
田口	高橋さい子
大沢	磯貝　厚子
野沢	常田さおり
前山	星野　武光
桜井	秋山みさき
岸野	木内　良居
中込	坂本　美砂
平賀	田村　好美
内山	小林　正興
岩村田	角田千登勢
志賀	花里とみ子
三井	栂沢　紀恵
高瀬	小林　恵美
中佐都	甘利　康子
浅科	佐藤　頼子
本牧・布施	高柳智恵子

支部	支部長
協和・春日	松本久美子
立科	市川　洋子
小諸西	大西　優子
小諸東	佐藤　敏江
美南が丘	関　　正枝
軽井沢・御代田	柳沢　弘美
東御市	重田　行子
依田窪	横山　清江
上田	戸田比呂美
長野	和田　行雄
松本	田口　彌生
東京	友野　法子
関西	佐野　泰子

令和７年度　同窓会総会のご案内

日　時　**令和７年６月14日（土）**　受付13：00～

場　所　佐久一萬里温泉ホテル　４Ｆ　　TEL 0267-63-5551

内　容　Ⅰ　総会行事　　13：30～14：20

Ⅱ　1 講　　演　　14：30～15：50

入船亭扇好師匠（高33）**による講演と寄席**

～“人情と笑いの世界”へのいざない～

2 生徒発表　　16：00～16：30

Ⅲ　懇親会　　16：40～18：20（会費5,000円）

★準備の都合上、ご出席の方は５月30日（金）までに各支部長または同窓会事務局に申し込んでください。（申し込み内容：氏名、電話番号、総会のみ参加または総会・懇親会両方参加のいずれか）

★一般の方の講演と寄席のみのご参加もお待ちしております。

［同窓会事務局：月･木･金　13：00～16：00　開室
TEL/FAX　０２６７−６３−６６４６］

「野沢南北共同研究班」始めました

野沢南、野沢北両校の卒業生有志で、今までの歴史を振り返り、それを新校につないでいく、そして新たな歴史を創造していく一助となることを願い、両校同窓会のご理解をいただき、共同研究班を立ち上げました。最初のテーマとして、佐久市の沖縄糸洲の壕整備で注目を集める小池勇助軍医と、野沢南高の平和学習の成果をとり上げます。つきましては、野沢南北卒業生の戦争体験についての記録、エピソードなどの情報提供、共同研究班への参加など、活動へのご協力をお願いいたします。

問合せ先：nozawa.nanboku.kyodokenkyu@gmail.com　（高橋　順子）

同窓会事務局長の退任と新任者の紹介

同窓会事務局長の小金沢みつ子さんが令和６年度末で退任されました。平成26年から11年間同窓会の事務方として、長年活動をしていただきました。学校側との橋渡しも丁寧にご対応いただき役員も安心して活動できました。また、お人柄も温厚で、地区役員の皆様の声にいつも耳を傾け相談役として頼られていました。本当に長い間お世話になりました。心より感謝申し上げます。

今年度から高橋順子さんを事務局長にお迎えしました。南高の教員としての経験もおありですので心強いです。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会報の発行について

近年、会報を作成するにあたり、印刷代、発送料などの高騰と共に生徒数減少に伴い運営資金が逼迫してまいりました。そこで会報発行・発送費用を見直す時期と考えております。世界のペーパーレス化への動きと若い世代の情報入手の手段が、Web による時代を迎えたこと、数年前から、野沢南高校の HP へのアクセスにより閲覧が可能になっていることを踏まえ、次年度第 74 号の会報から若い世代の同窓生の皆様には、Web でお届けすることを検討しております。今後の会報発行・発送に関してのご意見、ご要望など同窓会事務局までお寄せ頂けると幸いです。　（令和７年 10 月まで受付ます。）

ご寄付ありがとうございました

大切に使わせて頂きます

丸野　幸子様（高８）　20万円

編集後記

一世紀以上前、先人たちは教育への熱い思いで、高等女学校設立のため懸命に尽力され、伝統ある野沢南高等学校の礎を築いた。まさか百年先の未来に子ども数減少が始まり、学校の数が減る事態になるなど、想像しなかったであろう。２００５年に第１期高校再編計画で南高の多部制・単位制高校に転換（案）が公表された。同窓会、ＰＴＡを中心に学校や地域も一緒に懸命に反対活動をして転換（案）の白紙撤回を成し遂げた。ところがこの20年で社会は激変した。今、出生率低下の流れは誰にもくい止めることはできない。

統合新校創設計画の進捗と伴に、野沢南高同窓会の存続について、最重要課題として具体的に検討しなければならない時期がやってきた。加えて会報発行についても十分な審議が必要である。百年先の未来に向かって曲折の無い同窓会の足跡を残すために。

◆今号が例年通りの発行となりましたことに心よりお礼を申し上げます。最後に、お忙しい中ご寄稿いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

会報委員　高畑　昭子　井出恵理子
村松さつき　神部かほる
高橋　順子　山口　達之